

救急車の適時・適切な利用のお願い！

冬季は救急要請が増加します！

救急車を本当に必要とする人が使えるよう救急車の適時・適切な利用にご協力をお願いします。

病院へ行くべきか？救急車を呼ぶべきか？迷ったら…

ネットの「東京版救急受診ガイド」で緊急性を判断するか、

電話で「東京消防庁救急相談センター『#7119』」に相談してください。



「東京版救急受診ガイド」

こんな症状があつたら迷わず119番を！！



【ためらわずに救急車を呼んでほしい症状】

【高齢者】【おとな】【こども(15歳以下)】があります！



該当した場合はためらわずに119番通報して下さい。

転倒によるケガに注意

日常生活における事故で最も多いのは「ころぶ」事故です！！

「ころぶ」事故による救急搬送者数は10月から増加し、12月に最も多く発生します！！

気温が低下する10月以降は、手足の動きが鈍くなるため「転倒によるケガ」がさらに増加！！



「ころぶ」事故は高齢者に多く発生！！全体のうち、7割が65歳以上を占め、

事故の約6割が自宅などの「室内(居住場所)」で発生しています。

原因の多くは、普段気に留めない家の中の小さな段差やカーペットなどです。

高齢者は若い人と比べ、ころんだ際に重症化しやすく、寝たきりになる場合もあります。



「ころぶ」事故を防ぐ心得

- 立ち上がるときは、近くのものにつかまる。
- 着替えや靴下を履くときは椅子に座る。
- 意識して足やつま先をあげて歩く。
- 電気コードが通路にかかるないように電気製品の配置を工夫する。



「ころぶ」事故対策動画はYouTubeで発信中！



屋内編

屋外編

これから季時

火災 増加

STOP！住宅火災！

日頃からの心掛けが大切です！

たばこ



NO!
寝たばこ・不始末

ストーブ



NO!
近くに布団・洗濯物

こんろ



NO!
離れる・周囲に可燃物

コード コンセント



NO!
ほこり・折れ曲がり・束ねる

大切な命を
守るために道具

早く気付く！
住宅用火災警報器



早く消す！
マイ消火器



リチウムイオン電池関連火災

急増！！

近年、リチウムイオン電池を使用した機器による火災が多発！！

特に、モバイルバッテリーや携帯電話などが原因となるケースが目立っています。

充電中に発生！～外部衝撃にも要注意～



リチウムイオン電池関連火災(令和6年中)のうち、約6割が充電中に発生しています。

充電中で最も多いのは、「製品の欠陥(リコール含む)」、

次に多いのは、「充電方法誤り(正規品以外で充電)」です。

非充電中で最も多いのは、「分解・廃棄・バッテリー交換」です。

また、「外部衝撃(落下)」によるものは、充電の有無にかかわらず発生しています。



動画はこちら

こんなときは危険!! 今すぐチェック!

- 熱のこもりやすい場所で使用している
- 膨らみ、変形している
- 過去に落下させたことがある
- 充電中や使用中に発熱することがある
- 充電できないなどの不具合がある

万が一火災が発生したら…

- 火花や煙が激しく噴出している場合は近寄らず、勢いが収まつたら大量の水や消火器で消火する。
- 大量の水で温度を十分に下げ、安全に配慮し、水没させる。

